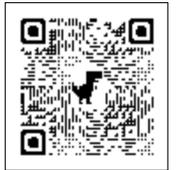


「自主、自立、自信」子供のやればできるの体験を支える学校づくり



R8年3月11日
文責：校長

学校運営協議会

笑顔と活気が溢れる学校に

3月3日(火)に第3回学校運営協議会を開催し、一年間の学校運営の総括を行いました。

学校から、子供たちの学習の成果として八代市及び県学力・学習状況調査結果の分析内容を報告し、学習指導の成果と継続している課題について委員の方々と共有しました。

委員の方々からは、「いずかし集会で子供たちの堂々とした発表を見てとてもうれしかった」「あいさつがとても良くなり、かけた言葉に対しても返事や言葉が返ってくるようになった」「学校敷地内にあるゴミが少なくなり、栽柳園をはじめ施設環境がとても良くなった」など、子供たちの成長を喜ばれる声がたくさん聞こえてきました。

今年一年間、登下校の見守りや教育活動の支援、学習指導のサポートなど地域の皆様の温かいご支援お陰で、子供たちが安心して通える学校になりました。また、地域コーディネーター

様には、地域人材の確保や学校支援のマネジメントなど、陰で学校運営を支えてくれましたこととに、この紙面をお借りして深く感謝申し上げます。

今後も、協議会の皆様にご助言と支援をいただきながら学校経営を進め、今年度以上に子供たちと職員の笑顔と活気が溢れる学校づくりに努めて参りたいと思います。一年間、大変お世話になりました。また次年度もよろしくお願いいたします。



植柳盆踊り口説き児童受賞



2月24日「やつしろの笑顔・未来を創る児童生徒表彰式」が市役所本庁で行われ、本校の植柳盆踊りで口説きの継承活動をしている子供たちが特別賞を受賞し表彰されました。
これは、人命救助や社会奉仕活動、伝統文化の継承活動などを実践した市内の児童生徒の善行を奨励することを目的として、やつしろの笑顔・未来を創る児童生徒表彰委員会が表彰するものです。表彰式では、会長から、「皆さんが取った行為は大変すばらしく、皆さんの心の美しさや温かさを感じるとともに、強く心を打たれました。これからも心や思いを形にし続けて、周りの人を勇気づけて欲しいと思います。」と、活動を評価していただきました。受賞したみなさん、おめでとうございました。

今年もたくさん飛びどくな

2月25日(水)に、栽柳園保存期生会の会長(松浦様)をはじめ、会員の皆様により、栽柳園の清明の池に沿って流れる小川に源氏ホテルの幼虫が放流されました。この日は、昼休みに放送で呼びかけると、子供たちが興味深そうにたくさん集まりました。

まず、地域コーディネーターの松下様からホテルの幼虫についてパネルを用いて丁寧に説明されました。その後、容器に入った幼虫を見た後、放流の様子を見学し、体験もしました。会の最後に、保存期生会の松浦会長から、「栽柳園の素晴らしい環境を後世に引き継ぐためにも、放流したホテルの幼虫には元気に育ってもらいたい。」と話され、子供たちは真剣に聞いていました。
最近はお鑑等で見ることができないホテルの幼虫を実際に見て、放流する貴重な体験ができ、子供たちは本当に恵まれています。

伝統文化財と共存する全国でも珍しい環境の中で、子供たちのために様々な取り組みをしていただく保存期成会の方々には深く感謝申し上げます。



